

## 堺市指定管理者評価表

( 評価対象期間 : 令和4年4月1日 から 令和5年3月31日 まで )

## 1 基本情報

(1) 公の施設の名称	
堺市大仙公園日本庭園	
(2) 施設の設置目的	
市民に憩いの場を提供するとともに文化を創造し、もって公共の福祉の増進に資するため	
(3) 所管部局	
建設局 公園緑地部 大仙公園事務所	
(4) 指定管理者名	
南海・大阪造園共同企業体 (南海造園土木株式会社、大阪造園土木株式会社)	
(5) 指定期間	
平成31年4月1日から令和6年3月31日(5年間)	
(6) 主な事業	
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 入園料及び和室使用料の徴収、入場者の応接、券売業務、自主事業の計画・実施、使用許可事務</li><li>・ 園内の施設・設備・樹木の維持管理に必要な維持管理・保守点検・清掃・警備業務等</li><li>・ 大規模な改修及び建築物の躯体部分の補修を除いた園内施設・設備等の補修等</li></ul>	
(7) 施設分類	(8) 有料施設の有無
産業・基盤施設	有 (利用料金制)
(9) 選定方法(公募・非公募の別)	
公募	
(10) 主な利用者	(11) 市内における受益対象者数
対象者特定無	不特定多数
(12) 近隣の類似施設	
無	

## 2 管理運営状況

## (1) 適正な管理運営の確保

## ア 取組状況

平等利用、安全確保、個人情報の保護等	・園内の日常点検を徹底し、異常箇所を発見した場合は監督員と協議の上、早期修繕の対応を行い施設の瑕疵による事故を未然に防いだ。 ・庭園利用者の個人情報流出未遂の事案があり、業務改善指示書を受け、個人情報漏洩対策を徹底した。
職員配置、人材育成、施設の維持管理等	・職員配置について、過去の実績を考慮し、樹木管理、清掃業務、呈茶業務など適切な配置を行った。 ・植栽管理について、多くの来園者に楽しんでいただけるように各植物の特性に配慮した管理を行った。
施設の設置目的に沿った事業の実施	夜間ライトアップイベントや呈茶販売を行い、多くの市民に利用していただき、設置目的である市民生活の充実に繋げた。
その他特筆すべき取組	施設の機能保全と来園者が快適で安全な利用を図るため、青苔亭の舗装張替をはじめ計画的に修繕を行った。

## イ 市による状況分析

質の高い植栽管理、日常点検で発見した施設の不具合に対する早期対応等、利用者満足度の向上につながる適切な管理を行った。

## (2) 利用者サービスの向上

## ア 利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
指定管理者名	南海・大阪造園 共同企業体	南海・大阪造園 共同企業体	南海・大阪造園 共同企業体	南海・大阪造園 共同企業体	南海・大阪造園 共同企業体
利用者数(単位:人)	86,371	72,131	81,843	98,958	—
稼働率(単位:%)	—	—	—	—	—
利用者満足度(単位:%)	86.0	86.0	89.0	90.0	—

## イ 取組状況

サービス向上、利用促進	・自主事業で、夜間開園時に堺市内の業者の協力で日本料理等のお弁当を食べながら庭園を楽しんでいただくイベントを新たに行うなど、積極的に市民サービスの向上を図った。
意見・苦情・要望等への対応	・職員が常に利用者の意見を受け付けることができる体制をとっている。 ・利用者アンケートを実施し、要望等の意見収集を行った。収集した意見は精査し、可能な範囲で反映した。
その他特筆すべき取組	HPやSNSで積極的に情報を発信したことで、年間入園券の申し込み、年間入園券の使用(再来園)が増加した。年間入園券発行枚数が令和3年度対比約40%増、年間入園券利用人数が約48%増となった。

## ウ 市による状況分析

・施設の利用者数について、新型コロナウイルス感染症に関する社会情勢が変わってきたことにより増加している。  
・利用者満足度について、アンケート内項目別でみると施設の安全性に関することと従業員の対応の項目で満足度が微増していた。また、広報に関する項目の満足度が他項目と比べて低かったため、より有効な広報手段の検討が必要である。

## 2 管理運営状況

## (3) 収支

## ア 収支状況

(単位:円)

## ■ 指定管理業務

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
指定管理者名		南海・大阪造園 共同企業体	南海・大阪造園 共同企業体	南海・大阪造園 共同企業体	南海・大阪造園 共同企業体	南海・大阪造園 共同企業体
収入	指定管理料	52,372,986	54,671,832	52,124,166	52,124,166	52,124,000
	利用料金	18,893,942	15,342,651	16,782,330	19,116,450	19,500,000
	負担金	0	0	0	0	0
	その他	6,698,698	5,195,292	5,178,751	7,298,214	7,550,000
合 計		77,965,626	75,209,775	74,085,247	78,538,830	79,174,000
支出	人件費	30,737,400	30,562,750	30,495,045	33,337,870	33,600,000
	委託料	12,273,698	12,005,829	12,703,173	13,875,124	13,010,000
	総支出額に占める 委託料の割合	16.7%	16.3%	17.9%	17.8%	16.4%
	修繕費	4,794,507	2,402,400	3,333,000	134,568	3,000,000
	光熱水費	5,411,924	7,456,287	5,149,434	9,174,849	7,885,000
	その他	20,339,915	21,010,960	19,466,925	21,225,021	21,679,000
合 計		73,557,444	73,438,226	71,147,577	77,747,432	79,174,000
収支差額		4,408,182	1,771,549	2,937,670	791,398	0
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—
(徴収委託の場合の徴収額)		—	—	—	—	—

## ■ 自主事業 (有)

(単位:円)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度 (予算)
収 入		2,649,804	463,318	1,230,514	2,029,813	3,512,000
支 出		7,192,705	756,696	1,407,808	2,821,211	6,191,000
収支差額		-4,542,901	-293,378	-177,294	-791,398	-2,679,000
(市への納付金の額)		—	—	—	—	—

## イ 取組状況

経費の縮減、経理事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内の樹木への灌水は、樹種の特性を把握した上で、選別して行い、過剰な水の使用を抑えた。</li> <li>電気利用について、夏場のエアコンの設定温度を28度にし、節電に努めた。</li> </ul>
------------	---

## ウ 市による状況分析

光熱水費について、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として休園措置をとった令和3年度と比較すると、4～6月以外は使用量に大差は無く、例年通り経費削減に取り組んでいたように見受けられるが、費用が上がったのは、使用料そのものが上昇したことが原因と考えられる。

## 3 目標管理、総合評価

## (1) 目標管理

## ア 仕様書で定める目標の達成状況

## ■ 適正な管理運営の確保

指標	目標	実績
利用者数	9万人以上/年	98,958人
自主事業開催回数	10回以上/年	18回

## ■ 利用者サービスの向上

指標	目標	実績
アンケート調査における利用者の満足度(大変良い、良いの合計)	90%以上/年	90.0%

## ■ 収支

指標	目標	実績
利用料金収入	1500万円以上/年	19,116,450円

## イ 市による状況分析

- ・仕様書に定めた目標について、すべての項目で達成しており、過年度からの推移は上昇傾向であった。
- ・利用料金収入においては、和室利用と庭園利用が半分以上を占めていた。
- ・来園者数について繁忙期である10月から11月にかけて総来園者数の約4割を占めていた。

## (2) 総合評価

目標の達成状況のほか、管理運営状況も含め、以下の評価基準により総合的に評価を行う。

	指定管理者	所管課
評価	B	B
評価の理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書で定められている目標数値を全て達成した。特に、利用者数においては過去2番目に多い結果であった。</li> <li>・またコロナ禍ではあったが、創意工夫により積極的に自主事業を行った。</li> <li>・課題としては、個人情報の取扱いに不備があった。顛末書で示した対策案を確実に実行し、再発防止に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間来園者数が仕様書で定めた9万人以上を超え、多くの方に日本庭園を利用していただいた。また、利用料金収入についても、目標値を大きく超えた。</li> <li>・広報活動に関する利用者満足度が例年と同様に低く、改善できたとはいえない。</li> <li>・個人情報流出未遂の事案があり、業務改善指示を行った。</li> </ul>
今後の取組	令和5年度も引き続き、庭園の質向上・来園者の満足向上に努める。また過去最高の入園者数(平成29年度)をめざして、新たな自主事業を試みる等、様々な面からアプローチしていく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNS等の広報活動について、来園者増加に繋がる効果的な手法の検討を期待する。</li> <li>・来園者数について目標を達成しているが、閑散期と繁忙期の差が大きいので、閑散期の集客方法を検討することを期待する。</li> </ul>

評価基準	A	仕様書で求める目標や水準を上回る管理運営がなされ、優良であるもの
	B	概ね仕様書で求める目標や水準どおり(80~100%)の管理運営がなされ、適正であるもの
	C	管理運営が仕様書で求める目標や水準を下回っており、努力が必要であるもの
	D	管理運営が適切に行われたとは認められず、改善が必要であるもの